



令和3年(2021年)10月11日
北海道教育委員会

大会主催者への要請（改訂）

苫小牧市で開催された全国高等学校選抜アイスホッケー大会において発生した大規模な集団感染の事例や、国立感染症研究所実地疫学研究センターからの提案を踏まえ、北海道教育委員会から各種スポーツ・文化の大会、コンクール等を開催される皆様へ、次のとおり要請します。

1 全国、全道の大会、コンクール等の開催・延期・中止についての考え方

新型コロナウイルス感染症に関する次の状況を的確に把握の上、大会、コンクール等の開催による感染拡大のおそれがないか判断し、大会、コンクール等の開催・延期・中止を検討してください。

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する全国、全道の感染状況はもとより、特に、大会等開催地域の感染状況や大会等参加者が居住する地域の感染状況
- ・ 緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域に所在する大会等参加者が所属する学校、チーム等における大会等前2週間の感染状況
- ・ 大会開催期間中における大会等参加者、大会関係者等の感染発生状況

さらに、大会等の開催の判断に当たっては、国立感染症研究所実地疫学研究センターの提案等を踏まえ、以下の取組の実施を前提としてください。

【大会主催者の取組】

- クラスター発生等の事態に備えて、大会参加者の情報を開会前に把握する。ただし、個人情報の取り扱いに厳重に注意すること。
 - ・ 各校の選手や監督以外の同行者を含めた大会参加者名簿
 - ・ 各校の管理職や顧問等の緊急連絡先
 - ・ 大会2週間前からの各校や大会関係者の旅程表、宿泊施設の部屋割表
- 事前に開催地を所管する保健所に大会開催について情報提供するとともに、体調不良者等が確認された場合に備えて連携体制を整えること。
- 大会期間中の大会参加者や大会関係者の健康状態を適切に把握するとともに、風邪症状等の体調不良者がみられた場合、速やかに保健所に報告するとともに医療機関で受診させること。
- 大会のために集合してから大会が終了するまでの間、体調不良が確認された大会参加者や大会関係者が適切にPCR検査等を受検したかどうかについて把握し、随時情報を保健所と共有すること。
- 各会場に新型コロナウイルス感染症防止の責任者を配置すること。
- 着替えをする控え室は、密を避けるよう必要に応じ人数制限と十分な換気を行い、控え室に入りきれなかった参加者も、廊下などで密にならないような着替え場所の配慮を行うこと。
- 会場内で参加校同士の接触を最小限にするために予め動線を定め、各チームに大会関係者を1人付けるなど動線が守られる対策を行うこと。なお、会場の規模等によっ

て動線を分けることが難しい場合は、試合時間に合わせて会場に入る時間をずらすなど、接触する機会をできる限り減らすこと。

- 控え室など、大会参加者や大会関係者が会場(競技場、施設屋内等)で高頻度に複数の人が触れる部分に関し、大会期間中は頻回に清掃・消毒を行うこと。
- 大会期間中に、感染症対策のピクトグラムやポスターを掲示したり、場内アナウンスで感染症対策を呼びかけたりするなど、大会参加者に感染症対策を徹底する方法を工夫すること。
- 参加者に対して、以下の【参加者の取組】を大会参加に当たっての留意事項等に明記するなどして周知し、徹底すること。

【参加者の取組】

- 競技団体が作成したガイドライン及び大会主催者が作成した大会における感染症対策等を厳守すること。
- 各学校の責任者は、自身が感染管理をリードし、日頃から生徒に日々の体調の把握や行動管理への注意を促すと共に、基本的な感染管理の指導を行うこと。
- 各学校の責任者は、大会来場時のみならず大会2週間前からの参加者の健康観察を適切に行い、参加者に風邪症状等が確認された場合、大会主催者に速やかに報告し、医療機関で受診させること。
- 各学校の責任者は、控え室において、密にならないこと、マスクなしで、あるいはマスクを正しく着用せず、会話しないこと、換気を十分行うことを生徒に周知、徹底すること。
- 競技中において、ベンチ等での大声での指示出しや応援等をせず、着席を徹底すること。
- 宿泊を伴う場合、学校の責任者は、宿泊施設における感染症対策(大浴場の使用中止又は使用時間の指定、食堂における換気の徹底、基本個室等)が講じられているかを確認すること。
- 宿泊を伴う場合、各学校の責任者は、複数チームとの同時期の宿泊による選手同士の接触を避けるよう生徒への指示を徹底すること。

(参考)

- ・「高校生のスポーツ大会における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に関する提案(2021年8月31日時点)」(国立感染症研究所実地疫学研究センター)
- ・全国高等学校アイスホッケー大会における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)事例

2 全国大会におけるPCR検査の活用

「高校生のスポーツ大会における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に関する提案(2021年8月31日時点)」(国立感染症研究所実地疫学研究センター)では、大会前と大会期間中の定期的なスクリーニング検査(PCR検査が望ましい)の実施を検討すると示されていることから、大会前等におけるPCR検査の活用を検討してください。